

瀬谷区地域福祉保健計画推進シンポジウム報告

〈開催日時〉平成29年11月11日(土) 13時30分～16時

〈開催場所〉瀬谷公会堂

〈内容〉

1 基調講演 福祉と保健の生活課題を考える会代表 岡田 朋子氏

演題 今、あらためて「おたがいさま」と言おう！

2 各地区の地区別計画取組紹介パネル展示と区内福祉事業所作品展示販売

3 地区別計画取組発表(細谷戸地区、瀬谷第一地区、阿久和北部地区)

(1) 細谷戸地区

社会福祉協議会会長 : 木下 信義氏 『細谷戸地区「心が通じる地域づくり・地域は家族」』

(2) 瀬谷第一地区

社会福祉協議会会長 : 水村 明氏 『WAT運動(高齢者等の見守り活動)その歩みと現在』

(3) 阿久和北部地区

社会福祉協議会会長 : 清水 靖枝氏 『誰もが見守り合い、支え合える地域へ

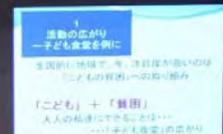
～阿久和北部地区のまちづくり～』

〈参加者数〉約250名

〈当日の様子〉

【基調講演】

岡田朋子先生からこども食堂など各地区の取組事例の紹介も交え、「おたがいさま」をキーワードに、地域の見守り合いの大切さを、あらためて伝えていただきました。



【福祉事業所作品展示販売】

ともしびさん、飛行船さん、くるみの森さん、ありがとうございました。



【パネル展示】

各地区の1年間の取組を振り返り、かわら版としてまとめていただいたものをパネルに拡大し展示しました。

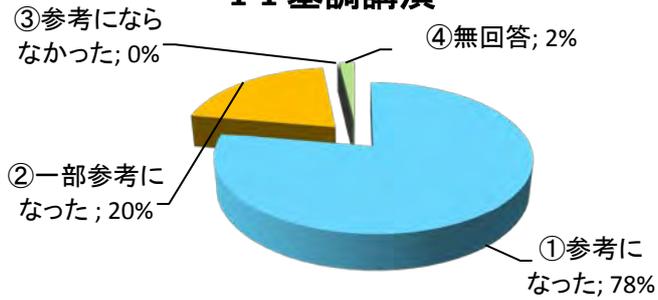


【地区別計画取組発表】

細谷戸地区、瀬谷第一地区、阿久和北部地区の代表の方から、第3期計画の基本目標Ⅰ「隣近所で見守り・支え合う地域づくり」の視点から、それぞれの地区の取組を発表していただきました。

1. シンポジウムの内容について

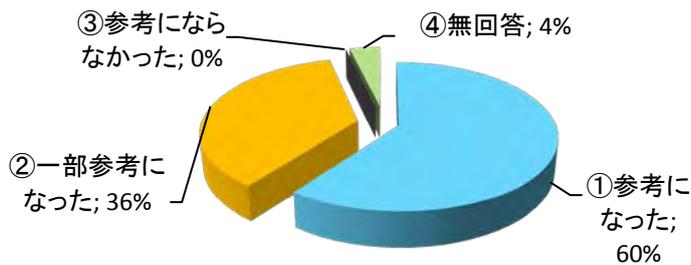
1-1 基調講演



1-1 基調講演

①参考になった	: 84 (78%)
②一部参考になった	: 22 (20%)
③参考にならなかった	: 0 (0%)
④無回答	: 2 (2%)

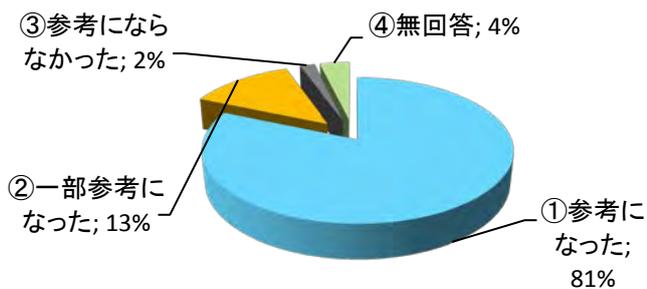
1-2 各地区パネル展示



1-2 各地区パネル展示

①参考になった	: 65 (60%)
②一部参考になった	: 39 (36%)
③参考にならなかった	: 0 (0%)
④無回答	: 4 (4%)

1-3 地区別計画取組発表

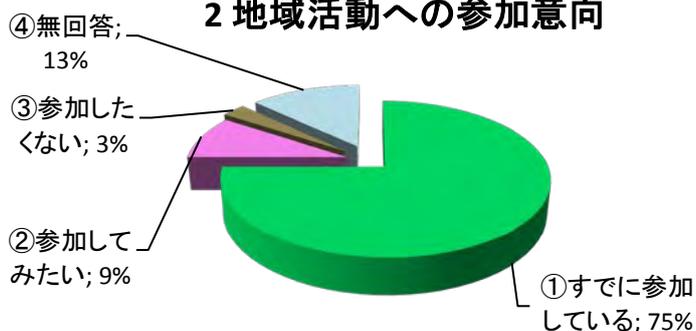


1-3 地区別計画取組発表

①参考になった	: 88 (81%)
②一部参考になった	: 14 (13%)
③参考にならなかった	: 2 (2%)
④無回答	: 4 (4%)

2. 地域活動への参加意向

2 地域活動への参加意向



2 地域活動への参加意向

①すでに参加している	: 81 (75%)
②参加してみたい	: 10 (9%)
③参加したくない	: 3 (3%)
④無回答	: 14 (13%)

3. 全体をととしての感想等

【基調講演】

- ・見守り等は現代の高齢化社会には大切な事だとあらためて気づかされた。近隣の見守りで支え合える地域に行きたい。隣近所で見守り合う大切さをひしひしと感じた。
- ・子ども食堂の話は自分のイメージと違ったので参考になった。興味があるので是非実現したい。分らないところを他の地区の方に教えてもらいたいと思う。
- ・子どもの貧困の実態が分った。身の周りでは高齢者が多く子どもが少ないので、子どもへの取組が後回しになりがちだった。同時に進めていく必要を感じた。
- ・子どもの問題に注目するようになった。高齢化が進んでいるが、お互いの見守りが本当に重要。
- ・子ども達への取組も大切。大事に地域の皆さんで育てて行きたい。学校などと協力していきたい。従来は高齢者が対象であったが、今後は子ども対象も重要と思った。

【地区別計画取組発表】

- ・3地区の発表は参考になった。地域へ持ち帰り活用したい。
- ・どの地区も実態・ニーズをきちんと把握して、その上に立って活動を進められている。目標をはっきりしてぶれない活動を発展させていくことが大切と感じた。各地区それぞれの取り組みが進化していることに感心した。
- ・次の担い手の準備がこれからの課題になると思った。

【参加者】

- ・全体を通してもっと多くの人に参加してほしいと思った。町・地域全体で活動できると良い。
- ・子育て世代の参加は難しいのだろう。
- ・発表地区の観客が多いのは良いが、是非発表地区以外の所に聞いて欲しい。工夫が必要。自分の地域でも昨年の反省にもとづき今年は発表ではないが是非聞きに行つて欲しいと声掛けした。

【地域の状況】

- ・地元自治会の防災体制の取組強化が必要と感じた。
- ・社協だけで全地域をカバーできるのか。単位自治会との連動について話されていない。住民に近いのは自治会だ。
- ・各地域とも高齢化が進み、各自治会・町内会の役員・見守り活動をやる人が年々減少していく現状で若い人達の参加をどうしたらいいか考えさせられる。
- ・活動内容・推進方法・課題の解決を関連付けて進めるのに難しさがあるように思える。
- ・見守りは本当に自然に出来ると良いと思う。
- ・災害時の地域の連絡連携を強くする活動を更に進めて欲しい。自分もそれに参加したい。
- ・外国人の方がこの近年増えてきているように思う。これから地域でどの様な取組ができるのか考えていきたい。

【進行・内容】

- ・コメンテーターがまとめてくださったことは良かったが、会場にお越しの多くの方からの意見をもっと吸い上げて欲しかった。
- ・パネルはもっと簡単に分かり易くしてよいのではないか。資料の数を少なめに。もったいない。
- ・全体的に推進テーマを発表するのではなく、いくつかの点に絞り込んで発表することも必要であると思った。
- ・かわら版を連合・社協・民児協の各役員・見守り推進委員に配布し、話し合う機会にしたい。
- ・基調講演・地区別計画取組発表でパワーポイントでスクリーンに映し出していたが、もう一回り大きく映して欲しい。発表の時手元が暗くて資料が見えない。基調講演資料の綴じ方が資料が活用しにくい綴じ方だった。
- ・苦労話や失敗事例等の報告もあってよいと思う。
- ・シンポジウムはこれからも毎年実施してほしい。